

第5回学会大会研究発表予稿集

2003.10.18-19 北海道大学

発表順 ○：発表者 発表13分、質疑2分)

危機管理 (座長 渡辺 実)

停電リスクの低減と被害予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

○長井健人 (株) 日本総合研究所
鈴木敏正 (株) 日本総合研究所

震災等大災害時の緊急医療機能損傷評価と医療機関ネットワーク・・・・・・・・・・・・ 7

ー救急・災害医療支援モデルとその活用ー
○石田勝彦 (財) 電力中央研究所

地震・津波、防災情報システム (座長 渡辺 実)

災害報道の電話輻輳軽減効果

ー5.26 三陸南地震での検証と提言ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
○渡辺 実 (株) まちづくり計画研究所

ウェブページによる地震災害情報の公開とその役割

ー2003年5月26日宮城県沖を震源とする地震についての事例を通してー・・・・・・・・ 21
○佐藤 健 (東北大学大学院)
久田嘉章 (工学院大学大学院)
源栄正人 (東北大学大学院)

災害とブロードバンド その可能性と問題点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

○中村 功 (東洋大学)

南海地震津波に対する地域の準備状況ー高知市浦戸・種崎地区の事例ー・・・・・・・・ 33

○吉井博明 (東京経済大学)

地震・津波、防災対策ー1 (座長 小川雄二郎)

想定東海地震に対する名古屋市の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

○花原英徳 (株) 建設技術研究所
松尾一郎 (株) 建設技術研究所
宇田川真之 (株) 建設技術研究所

東海地震大綱を实践するための課題と対策

ー地震注意情報発令時の企業の対応ガイドラインの必要性ー・・・・・・・・・・・・ 47
○指田朝久 (東京海上リスクコンサルティング(株))

津波防災対策における地域間格差

ー津波ハザードマップに関する自治体対象調査よりー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

○金田資子 (東北大学大学院)
牛山素行 (東北大学大学院)
今村文彦 (東北大学大学院)

気象庁におけるナウキャスト地震情報・・・・・・・・・・・・・・・・	57
○加藤孝志 (気象庁)	
水道施設の地震に対する安心度指数の研究・・・・・・・・・・	63
○小川 雄二郎 (富士常葉大学)	
地震・津波、防災対策－2 (座長 牛山素行)	
2003 年に発生した地震に伴なって生じた液状化災害	
－5月26日三陸南地震・7月26日宮城県南部地震－	69
○陶野郁雄 (山形大学)	
○岡本英士 (山形大学)	
○軽部和志 (山形大学)	
2003 年「三陸南地震」時の三陸住民の対応行動・・・・・・・・	75
○牛山素行 (東北大学災害制御研究センター)	
○今村文彦 (東北大学災害制御研究センター)	
宮城県沖を震源とした地震経験による住民の地震対策の変化	
～インターネットによる住民アンケート調査を通して～	79
○中島良太 (株サーベイリサーチセンター)	
○大枝哲治 (株サーベイリサーチセンター)	
○岩間伸之 (株サーベイリサーチセンター)	
○中村 功 (東洋大学)	
地震時液状化対策は必要か？・・・・・・・・・・・・・・・・	83
○伯野元彦 (攻玉社工科短期大学)	
火山災害、防災対策 (座長 田中 淳)	
北海道駒ヶ岳周辺地域の防災意識	
－意識構造と時系列変化－	91
○田中 淳 (東洋大学)	
○宇井忠英 (北海道大学)	
富士山ハザードマップに対する地元自治体防災担当者の意識	95
○小山真人 (静岡大学)	
○坂本珠紀 (静岡大学)	
雲仙における砂防指定地の利活用に関する調査	103
○高橋和雄 (長崎大学)	
○中村聖三 (長崎大学)	
○其田智洋 (長崎県)	
過去から現在への災害情報、そして未来へ	
～温故知新、古きを知ってやがて再来する自然災害に備える～	109
○三松三朗 (三松正夫記念館)	
○多田康之 (虻田町郷土史家)	
有珠山周辺の防災まちづくり	
－災害遺構が語る次世代へのメッセージ～	117
○田鍋敏也 (壮瞥町役場)	
1910 年有珠山噴火の時系列情報とその解析結果	123
○岡田 弘 (北海道大学)	
○三松三朗 (三松正夫記念館)	

有珠火山防災教育副読本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129
○宇井忠英（北海道大学）
佐茂厚美（洞爺湖温泉小学校）
宇田川真之（建設技術研究所）他20名

地震・津波、災害報道（座長 中森広道）

平成15（2003）年の東北地方における地震と放送の対応・・・・・・・・・・133
○中森広道（日本大学）

災害情報共有システム「ラジオ・ライフラインネットワーク」
～在京ラジオ災害情報担当者会議による災害時の活動～・・・・・・・・・・137
○高橋民夫（文化放送）
村木正顕（ニッポン放送）
在京ラジオ災害情報担当者会議

南海地震にそなえる
ー防災報道への地域局の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・143
○森島繁美（NHK 高知放送局）

宮城県連続地震における災害報道の事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・149
○森 雅一郎（東北放送）
橋本俊一（東北放送）

災害時のメディア連携を目指して
～2003 鹿児島防災シンポジウムより～・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
○有馬正敏（MBC南日本放送）

防災対策（荒木田 勝）

迅速かつ信頼性の高い災害情報共有手段
ー世界災害共通番号(Global unique disaster Identifier number(GLIDE))の自動生成ー・・・・・・・・・・161
○荒木田勝（アジア防災センター）
村田昌彦（人と防災未来センター）

風水害、災害情報（荒木田 勝）

自然災害におけるヒヤリ、ハットの有効性について（2）・・・・・・・・・・167
○申 紅仙（(独行法)防災科学技術研究所）
中根和郎（(独行法)防災科学技術研究所）

がけ崩れ災害時の住民避難行動の決定木による検討・・・・・・・・・・171
○柳原幸希（国土交通省国土技術政策総合研究所）
國友 優（国土交通省国土技術政策総合研究所）
寺田秀樹（国土交通省国土技術政策総合研究所）

水害対策における情報面での新たな試み・・・・・・・・・・・・・・・・・・175
○木村達哉（国土交通省）

台風災害データベースシステムの構築	177
○湯本道明 (独法) 防災科学技術研究所	
松浦知徳 (独法) 防災科学技術研究所	
仲村千秋 (独法) 防災科学技術研究所	
岩瀬信行 (株) ビーコン	

防災対策、災害情報 (座長 三浦郁夫)

災害体験共有システムの利用	183
○中根和郎 (独法) 防災科学技術研究所	
申 紅仙 (独法) 防災科学技術研究所	
小見波正隆 (アデコキャリアスタッフ (株))	
石井 和 (株三菱総合研究所)	

北海道における防災気象情報の改善 —旭川地方気象台の実践—	189
○高嶋 白 (新千歳航空測候所)	
横田 崇 (札幌管区気象台)	

市町村を主体とした防災機関等との連携 —北海道における地域の防災力の向上を目指して—	197
○大橋雅寿 (旭川地方気象台)	
横田 崇 (札幌管区気象台)	

地形情報を活用した津波対応地域型防災マップ作成の試み	205
○安部 祥 (東北大学大学院)	
今村文彦 (東北大学)	
牛山素行 (東北大学)	

気象庁ホームページのアクセス数について —災害情報へのアクセスについての一考察—	209
○三浦郁夫 (気象庁)	

マルチメディア (ブロードバンド) と防災コンテンツ	215
○櫻井康博 ((財) 日本気象協会)	
田口晶彦 ((財) 日本気象協会)	
飯島 希 ((財) 日本気象協会)	
佐々木昭士 ((財) 日本気象協会)	

携帯電話における防災情報伝達の現状と今後について	221
○櫻井康博 ((財) 日本気象協会)	
赤星 誠 ((株) NTT ドコモ)	
大友 徹 ((株) NTT ドコモ)	
城野 司 ((株) NTT ドコモ)	

防災情報システム (座長 干川剛史)

時系列表現によるわかりやすい土砂災害予警報情報表示	227
○岡野和行 (アジア航測株)	
牧 澄枝 (アジア航測株)	
湯川典子 (アジア航測株)	
天野 篤 (アジア航測株)	
菊井稔宏 ((財) 砂防・地すべり技術センター)	

防災情報ポータルサイトを活用した市民防災活動支援の試み 235
○町田 岳 (株) アニメックス
 榊原 弘 (株) アニメックス
 伊永 勉 (株) アニメックス

IT を利用した災害情報共有・交換システムの現状と課題 241
○千川剛史 (大妻女子大学)

風評被害、その他 (座長 千川剛史)

「風評被害」はなぜ生ずるか (災害情報とリスク認知) 247
○竹田宜人 (東京都立大学)
 中村一樹 (東京都立大学)

現在、災害を考える。 255
○清家 規 (九州大学大学院)